

八潮市議会議員 あさだ和宏(43歳)無所属(刷新の会)



継続こそ・力なり!!
子育て世代の声を市政へ!!

未来の八潮・子どものために… 和宏のほっとかない!! NEWS vol.44〈9月議会報告〉

編集・発行

あさだ和宏を育てる会
会長 落合 利治
編集長 中井 欣也

〒340-0821 八潮市伊勢野306
FAX 048(996)4361

●発行日 平成23年11月●

討議資料

子供に
ツケを
まわさない!



プロフィール

1968年 3月28日
八潮市に生まれる(現在43歳)
市立大瀬小(八小)大原中(二中)を卒業
私立成立学園(商業科)を卒業
01年 (社)八潮青年会議所理事長
(青年会議所の事業を通して、
政治のあり方・教育問題に関心を持つ)
01年 9月市議選に立候補
(最年少候補(当時)33歳)
1229票12位当選
05年 9月
2度目の市議選に立候補(37歳)
1415票9位当選
09年 9月
3度目の市議選に立候補(41歳)
1733票3位当選
現在、3期目(刷新の会)
専修大学 法学部(2部)現在4年生

所属団体

地方政治改革ネット 会員
青年地方議員の会 会員

ホームページ

あさだ和宏

検索

八潮市議会議員・3期目、後半がスタート!

新しく「会派」を結成しました。「会派名：刷新の会」

(※正式な会派登録は11月中旬。)

皆さん、こんにちは。お変わりありませんか・・・。

暦は11月に入り、市内のある木々も鮮やかに色付き始めています。季節は晩秋から初冬を迎えています。この時期は、朝晩を中心に気温が急激に下がることがあり、体調を崩しやすくなりますので、皆さんも体調管理には十分気をつけて下さい。

さて、平成23年第3回八潮市議会定例会(9月議会)が開催されました(期間9月1日～22日)今回は、市長提出議案30件が上程され、すべての議案が原案・可決しました。(その他議員提出議案「意見書」も採択されました)

私は今回も、議員に与えられた権利の一つである「一般質問」を行いました。
(権利を放棄している議員も…) 質問の詳細については次ページをご覧ください。

今回の9月議会は、2年前の改選後、4年任期の折り返し地点であると同時に、私にとっては議員となり10年という節目の議会となりました。

10年という歳月は、長いようで短かった時間でもあり、また、初当選以来、大きな会派に所属せず、少数会派に所属、活動することによって、より大きな経験、多くの体験が出来たと感じています。

そこで、10年を節目に、より市民の方から見える議会、信頼される議会を目指して、新しい会派を結成しました。

もちろん、当選以来続けている議員としての姿勢・スタンスの変更は、当然ですが変わりません。一期生・福野議員と2人会派ですが、共に研鑽し、より良い議会となるように努力してまいりますので、これからもご指導よろしくお願い致します。

八潮市議会議員 あさだ和宏

～議会報告会・懇談会のお知らせ～

(災害ボランティアの報告もあり)

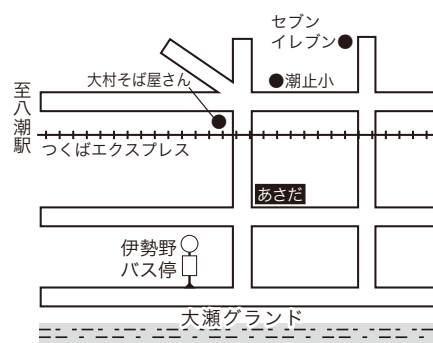
●日時：11月26日(土曜日)

午後6時30分から(受付6時)8時頃まで

●場所：あさだ2階 伊勢野306

●内容：9月議会の報告・参加された皆さんとの懇談

●問合せ：090-3402-6388(朝田)まで



一般質問

メール配信サービスについて

Q 災害・防犯情報や市政情報を、登録を希望した市民等の携帯やパソコン等にメールで情報を提供する自治体が増加しています。このような取り組みは災害発生時にももちろん、平常時において行政側からの情報発信のツールの一つとして有効であると感じますが、本市での今後の取り組みについて伺います。

A 近隣では越谷市、草加市がすでに実施しており、共に震災発生以降、災害等に関する情報の登録者が大幅に増加している。本市でも、今後、導入している自治体の状況を調査・研究し、関係各課と検討していきたい。

再質問

Q 近隣の吉川市が8月から、安価で提供できる防災・防犯サービス(初期費用1万円・月々4000円・3,000人まで登録可能)を実施しているが、まずは、本格的なシステム(費用は80万〜100万円程度)を導入する前に、本市も吉川市と同様なサービスを提供する考えは。

A 吉川市で導入した経緯も調査しており、それを踏まえた上で、本市としてどのようなシステムが良いか早期に検討したい。

Q 今後、市が策定する計画(防災計画や福祉計画等)に、メール配信サービスを明記しておく必要があると感じるが、市の考えは。

A 今後、計画の見直し時期の際に、明記する方向で考えている。

和宏の考え・意見

今回の質問は、先の東日本大震災発生時、本市では特に、学校関係(下校の対応)の情報が混乱しました。上記のようなサービスがあれば、例えば「〇〇小学校の児童は、学校で待機しています。保護者の皆さん、児童の引き取りをお願いします」と

いう情報が提供できます。また、「防災行政無線」の内容も、配信することが可能となり、防災行政無線の難聴地域の解消にもつながります。

導入している自治体の場合、「防犯」「災害」「市のイベント」等、幾つかの分野に分かれていて、利用者が希望する情報を選択し、それぞれの情報が携帯電話やパソコンにメールで配信されます。

今回の質問のやり取りを聞く限り、私は担当課として必要性を強く感じていると思いますので、同システム導入に関して、長い時間は要しないと感じています。

(余談ですが、この件に関しては、第3次八潮市行財政改革大綱・八潮市行財政改革集中改革プランで、「3年前」から検討している?項目です)

災害はいつどこに・やってくるかわかりません。防災という観点も重要ですが、「減災」災害を減らす観点も同時に重要です。担当課の皆さん、早めの対応をお願いします!

公園等の除染について

Q 市内には公園等を中心に放射線量が高い箇所があり、公園を利用する方から、早急に対応してほしいという声が寄せられています。特に公園は子ども達をはじめ、多くの市民が利用する場所であり、何らかの対応が必要と考えるが市の考え方について。

A 市が管理している公園、広場(88箇所)について、9月1日〜7日にかけて放射線量の測定を実施、測定場所は砂場やブランコ、滑り台など乳幼児や児童が遊ぶ場所を選定し測定した。今後は、利用頻度が高いと思われる公園(42箇所)の砂場について、放射線量の高い砂場の砂の入れ替えを実施する予定。

再質問

Q 具体的な時期はいつ頃か。

A 先日、市が市内の公園等の放射線量を測定し、一番数値の高かった「南川崎第二幼児公園」(5cmで0.418マイクロシーベ

ルト)をテストケースとして実際に砂の入れ替えを実施、かなりの効果があった。そのことから他の公園にある、砂場の砂を入れ替える作業を早急に実施していく予定

Q 放射線量の数値が高い公園の砂場について、砂の入れ替えが終了するまで、砂場の利用を自粛する事が、公園管理者(管理者は市)としてあると考えるが、市の考えは。

A そのような措置は考えていない。まずは、より詳細は測定を最優先し、その測定結果を踏まえて判断をしていきたい。

Q 市の除染計画の策定は具体的にいつ頃までに策定するのか。

A 除染計画を策定するには、除染をして発生した土砂の仮置き場をどこに設置するかなど事前の検討するべき事項が幾つかあり多少の時間を要すると思うが、計画を策定する作業と並行して、数値が高い箇所の除染は早急に策定していく予定。

Q 公園等の除染が実施された場合、業者・職員だけでは迅速な対応が出来ない場合もあり、そのような場合は、市民や住民等の皆さんにボランティアとして協力を依頼することについて。

A 働きかけは必要と感じている。今後、公園を管理委託している町会の方や、市民や住民の皆さんに協力をお願いすることも検討していく予定。

Q 今後、5市一町で協議会を立ち上げていく予定とのことだが、他市との間でも、除染等の取り組みについて「温度差」があるのでは?と思うが、協議会の中で取り決めをする場合、他市との間でのコンセンサス(合意形成)はどのように考えているのか。

A 協議会には専門家3人が入る予定であり、専門家の意見も踏まえながら、現在、本市で進めている除染等の取り組みを紹介するとともに、市としての考え方、方向性はしっかり伝えていきたい。

和宏の意見・考え方

どれだけ私たちが勇気をもらっているか」と言われました。本日は私たちが励ます立場なのですが…。「がんばろう日本」

福島原発事故による大量の放射能が拡散した問題、発生から8ヶ月が経過しても、本市だけではなく、埼玉県を含む広範囲の地域で大きな課題となっています。特に本市は、「ホットスポット」と呼ばれている地域と隣接しており、実際の放射線量も高い数値となっています。今回は、公園の除染を主に質問しましたが、私は、市の対応について、迅速に対応していると高く評価しています。(他の自治体では、測定もしていないケースも)

この件について、解決には多くの時間を要することが予想されますが、こういう緊急事態だからこそ、「市民の力・住民の力」を結集し、乗り越えていくことが大切だと思います。

是非、皆さんのご協力をお願いします。

市推奨品を学校給食に使用するようについて

Q 市が推奨する食品を学校給食(バイキング給食や補食)に使用して、推奨品のPRと活性化につながる取り組みを実施する考えについて。

A 市推奨品には、市の特産物である小松菜、枝豆、白玉粉を使用した食品が20品目あります。今後、これらの食品を給食で使用する場合、単価や必要な数を納品出来るか課題がありますので、今後、研究していきたい。

再質問

Q 年間の補食数は何食か

A 小学校、中学校合わせて、56回、5,729食

Q 補食として、どのような品物が提供されているか。

A アイスクリーム、エビフライ、ケーキ、プリンなど

Q 今後、教育委員会と商工会、そして委託先を交えて、具体的に話し合いをする必要があると考えるが。

A 今後、担当課として前向きに検討していきたい。
※補食・・・学校行事等で、予定していた給食が食べられない場合、その代替?として「補食」として先に紹介したような食べ物、給食と共に出てくる。八潮市独自のシステム。

和宏の考え・意見

本来なら、補食でなく、通常の給食を食べてもらうのがベターですが、中学校になると様々な学校行事があり、なかなか解決しない問題です。
であるならば、補食で出される食品を、ごく一般的な食品でなく、私は地元(八潮市)で採れた野菜等を使用した推奨品を使用することによって、地産地消の一つに繋がると感じます。また、地域産業の活性化の一助になると思いますし、新たな商品開発や、新しい産業を創出するということも可能だと考えます。
(この件に関して、あとは「工夫」と「やる気」で解決すると思っています)

ハッピーこまちゃんの活用について

Q 市のイメージキャラクターである「ハッピーこまちゃん」を、本市のPRのためにもつと活用する必要があると考えるが市の考えについて伺います。

A 「ハッピーこまちゃん」は平成13年に本市の食育推進のためのマスコットキャラクターとして誕生しました。また平成20年には、埼玉県「ゆる玉応援団」の団員ナンバー18番として上田埼玉県知事から任命書が交付されています。

今後は、より幅広い事業展開を進めるために、本年6月に特許庁に対して、図柄の商標登録を願いました。
市としても、市のPRとイメージアップのために積極的に活用していきたい。

再質問

Q 行政として、例えば、市の広報誌やホームページ等、様々なケースを考え、ハッピーこまちゃん

こまちゃんの図柄を活用できると思うが、どう考えているか。

A 市のホームページは11月頃にデザインを変更する予定なので、それに合わせて活用していきたい。

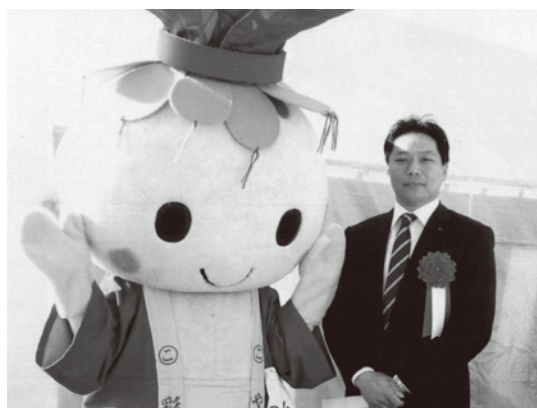
Q 商標登録として認定された場合、どんな使用方法が可能になるのか。

A 今までと比較しても、今後はかなり広い分野で活用が可能となる。今後、市民の方や各種団体等へ積極的に働きかけをしていきたい。

和宏の考え・意見

市民の皆さん、「ハッピーこまちゃん」知っていますか?
市が実施しているイベント等で登場し、かなりの人気者!です。
また、今月(26日・27日)、羽生市で開催される「第2回全国ゆるきやらサミット」にも「初」参加します。(全国から70体以上のゆるきやらが参加予定)

「ハッピーこまちゃん」は市が登録商標として登録しましたので、今後は、今までより様々な手法で「こまちゃん」を活用出来ると思います。本市のイメージキャラクター、皆さんで盛り上げていきましょう!



傍聴 うおっちゃん!! 議会へ出かけよう!



私はここ数回、友人に誘われて議会傍聴をしています。実は最初に友人から「議会を見に行かない?」と誘われた時、正直、「私にはあまり関係がない」と感じしましたが、
でも、「度は騙された」と思い、議場へ足を運びました。

最初は、多少の戸惑いもありましたが、何度が議会を傍聴することによって様々なことが見えてきました。

質問はするけれど、質問通告書を見る限り「こんなこと聞いてどうするの?」という内容もあり、議員の資質を判断する一つの目安となります。

是非、多くの市民の方が議場へ足を運んでくれると、議員や執行部側もより緊張感が高まり議論が深まると私は思います。次の市議会議員選挙の改選まで2年を切りました。

選挙の時に、自分自身の「一票」を投じた議員がどんな活動発言をしているのか、これからは「見守って」いきたいと思っています。



今回も、写真に写っている方以外にも多くの皆さんが傍聴していただきました。(感謝)

◎所属する委員会が変更となりました。

次回(12月議会)から、総務文教常任委員会の所属となりました。

9月議会まで所属していた建設・水道常任委員会では、副委員長として委員長をサポートさせていただき、委員会多方面で大変勉強になりました。(色々とありましたが…)

また、正副議長が交代となり、議長には森伸一議員(3期)、副議長には服部清二議員(2期)(共に自民クラブ所属)が選出されました。

※森議長とは同期であり、初当選後「共に八潮市議会を変えよう」と誓った仲間の一人です。様々な課題はありますが、思い切った「議会改革」を進めてほしいと思います。



和宏の独り言… ～原発事故を機にライフスタイルを考える～

3月11日に発生した東日本大震災の影響で、今まで世界に類のない大規模な「原発事故」が発生しました。事故発生後、約8ヶ月が経過していますが、爆発事故によって大気中に大量の放射性物質が拡散し、広範囲の地域が汚染されるなど、まだまだこの問題について解決には多くの時間と多額の費用を要すると感じています。

さて先日、専修大学・大学院で開催された「脱原発」をテーマに開催されたシンポジウムに参加しました。パネラーの方からは、「原子力村」と呼ばれる原発開発、稼動に関連した特殊な産業・利権構造が紹介されました。また、原発に頼らない新たな再生可能エネルギーの開発等も紹介され、これからこの分野も積極的に開発をすることが大切だと感じました。

私も正直、「節電」について意識はあったものの、今回の事故を機に、「ライフスタイル」を真剣に考える時期に来ていると感じています。

世の中を見渡せば、溢れる食品や商品、煌々と輝くネオン、家の中では様々な電化家電等、間接的・直接的に「電気」を湯水のように使い続けている生活となっていると思います。

今回の事故を起こした福島第一原発で発電された電気を消費しているのは「関東近県・首都圏」です。

大量にエネルギーを消費している(知らないうちに)私たちの地域、家庭、個人、それぞれがライフスタイルを工夫しながら、生活していくことが重要だと思います。まずは、身近に出来ることから始めませんか。



ここが変だよ!八潮市の政策

財政難と言いながら・・・

今議会(9月)の補正予算の中で、消防署跡地を市役所駐車場として整備する事業がありました。説明では、駐車場として利用するために「アスファルト舗装」を実施すること。問題はその金額!その費用はな・なんと「1,300万円!!!」(外灯工事・柵工事含む)※ちなみに面積は約1,800㎡

私は駐車場として整備することに異論はありません。問題は、常々「財政難・財政難」と市職員が言っている時期に多額の費用を掛けて整備する必要はあるのか、と思います。

現在、この駐車場は砂利を敷き詰めて使用しています。ホコリ等の課題もありますが、この状態でも駐車場としての機能は十分だと私は思いますが・・・。



★編集後記★

「きんやのボヤキ」



ご無沙汰しています、きんやです。(^^)

いよいよ、2011年も残り2ヶ月弱となりました。

今年は、『がんばろう!日本!!』のスローガンのもとに一体感のある社会であつたと思います。

例えば、スポーツでは女子サッカー(なでしこジャパン)の活躍がありました。ここでは、「なでしこ」の活躍の記事を頂きながら、書きたいと思っています。

今年は八潮市が行ってきた市政を、「評価・チェック」をしっかりと行う「態勢」を整えるべきだと思います。

それは、先日開かれた「9月議会」が補正予算、そして前年度会計の決算認定が決まるからです。しかし、決算を認定する人たち(私たちが投票した人)も専門意識をもって認定し評価していただいたのでしょうか?...

納得できない認定の案については議会で議論すべきところは議論し、その認定案の仕事をきちんと評価する機能を構築し、支えを作ることを考えてもらいたいです。その上で、次を考えるべきだと思います。

今年は、朝田議員も考えることは沢山あつたと思います。

3期目、後半戦がスターとなりました。新たな視点様々な切り口で市民からの負託に応える活動に期待します。